



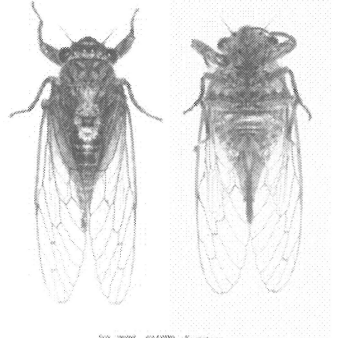
榎原チャレンジ! 一歩へ

下郷町立榎原小学校
学校だより No.11
令和2年 6月2日
文責:校長 酒井 健

◇前山からセミの合唱が聞こえてきました

6月に入りました。今週から学校は通常生活となり、子どもたちは授業や休み時間、力いっぱい学び、元気いっぱい体を動かしています。全国的に、様々なことが解除となり、依然と同じような生活がスタートしていますが、学校においては、感染予防に十分配慮をして子どもたちの安全安心を守っていきます。

今週に入ってから、校舎の前の「前山」から、セミの声がたくさん聞かれるようになりました。まるで7・8月のような雰囲気です。このセミの声の正体は、「春ゼミ」というセミなんだそうです。「春ゼミ」を調べてみました。



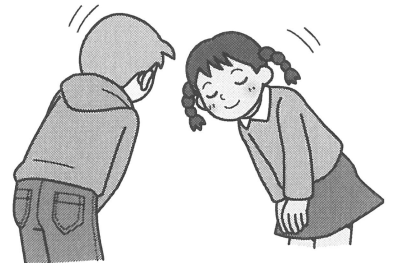
© 2008 S&B&S Toansha

- 透明な羽、体は黒～黒褐色。背中には緑と黒い紋。
- 東北・北海道で春ゼミと呼ばれているのは本種ではなく、エゾハルゼミのこと。
- 朝から夕方まで鳴くが、ピークは午前10時～午後2時
- 体が小さい割に声は大きい。実際に姿を発見するのは難しい。

気温もかなり高くなってきました。感染予防だけでなく、熱中症対策にも十分に注意をしていきます。

◇「日本一あいさつが上手にできる学校」をめざして・・・

4月の始業式で子どもたちに宣言をした「日本一あいさつが上手な学校にする」ということについては、以前、学校だよりでも書かせていただきました。最近の朝のあいさつの様子は・・・というとなかなか日本一には程遠い感があります。とっても元気にあいさつができる子どもたちもいますが、朝、校門の所で、



教員→「おはようございます！」
子どもたち→「おはようございます」または「・・・」ということも。

学校では、「規則として、約束として、あいさつをする」という指導ではなく、「あいさつをすることでどんなプラスがあるか、地域の方々、学校においでになった方々がどんな気持ちになるか」という視点であいさつ指導をしています。

「日本一」をめざして、これからも気持ちのよいあいさつができるよう声をかけていきますが、ご家庭においても、進んであいさつができるよう励ましの声をお願いいたします。



これからの学校生活についての疑問②

◆体育の授業でもマスクをしないといけないの？

・十分な呼吸ができなくなるリスクや熱中症になるリスクなどを考慮して、学校の体育の授業におけるマスクの着用は必要ありません。ただし、体育の授業における感染リスクを避けるためには、地域の感染状況を踏まえ、児童生徒の間隔を十分に確保するなどの対策を講じることが必要です。榎原小学校でも、密接・密集に配慮しながら授業を行っています。

〔マスク着用の必要性について スポーツ庁政策課学校体育室からの連絡〈5月21日付け〉〕

校長のひとりごと

新型コロナウイルス感染症対策に従事する医療事業者への感謝と敬意を示そうと、航空自衛隊のアクロバット飛行チーム「ブルーインパルス」が5月29日に都心上空を飛行しました。平成25年6月1日は福島市で「東北六魂祭」が開催され、この時も復興を祈願して福島市の上空を「ブルーインパルス」が飛行しました。当時、福島市で勤務していた私は、福島市の花見山から見ていました。轟音と速さに感動しました。その時の写真がこちらです。

